

令和8年度

北区「特色ある区づくり予算事業(案)」の提案状況について(経過報告)

(令和7年12月25日 資料)

令和8年度 北区「特色ある区づくり予算事業計画書」目次(令和7年12月25日現在)

番号	事業名	担当課	事業区分	R6決算額	R7予算額	R8予定額	掲載ページ
■自然の魅力輝くまち							
1	キタクなる福島潟みらいプロジェクト	産業振興課	新規	-	-	180万円	1・2
2	キタクなるみどりの景観共創事業	産業振興課	継続	315万円	450万円	450万円	3・4
3	豊かな水辺環境保全事業	区民生活課	新規	-	-	120万円	5・6
4	松浜海岸の自然環境保全と地域の魅力づくり事業	建設課	継続	296万円	300万円	270万円	7・8
■未来へ続く活力あるまち							
5	大学連携「未来のまちづくり」事業	地域総務課	拡充	100万円	100万円	200万円	9・10
6	北区トマト王国プロジェクト	産業振興課	継続	200万円	200万円	200万円	11・12
7	キタクなる魅力創造プロジェクト	産業振興課	継続	554万円	370万円	340万円	13・14
8	商店街ブランディング事業	産業振興課	継続	280万円	260万円	260万円	15・16
9	産学官豊栄まちなかリノベ事業	産業振興課	継続	334万円	350万円	350万円	17・18
■いきいきと心豊かに暮らせるまち							
10	北区郷土博物館 地域魅力発信事業	地域総務課	拡充	98万円	100万円	150万円	19・20
11	北区エンジョイスポーツ事業	産業振興課	継続	148万円	300万円	200万円	21・22
区企画事業						計 ①	2,720万円
12	大学連携による地域活性化事業	地域づくり部会		97万円	40万円	60万円	23
13	地域におけるこども・子育て支援事業	福祉教育部会		25万円	40万円	60万円	24
14	北区 自然(水辺)環境の活用・魅力発信事業	自然文化部会		54万円	40万円	60万円	25
自治協議会提案事業						計 ②	180万円
令和8年度 特色ある区づくり予算事業						合計 ①+②	2,900万円

特色ある区づくり予算事業計画書(その1)

事業名	キタクなる福島潟みらいプロジェクト
事業の取組み	<input type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組 <input checked="" type="checkbox"/> ■区の自然・風土を生かした取組 <input type="checkbox"/> □区民との協働を目標とした取組 <input type="checkbox"/> 区の伝統文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組 <input type="checkbox"/> □区民との協働による取組
ビジョン	<input checked="" type="checkbox"/> ■自然の魅力輝くまち <input type="checkbox"/> □安心安全で住みよいまち <input type="checkbox"/> □未来へ続く活力あるまち <input type="checkbox"/> □その他() <input type="checkbox"/> □いきいきと心豊かに暮らせるまち
事業期間	令和8年4月1日 ~ 令和10年3月31日
担当所属	北区産業振興課
現状・課題・ニーズ (事業実施の前提)	<ul style="list-style-type: none"> ・福島潟は国の天然記念物であるオオヒシクイをはじめとした220種以上の野鳥、オニバスなどの希少種をはじめとした470種以上の植物が確認されている自然の宝庫であり、魅力ある自然環境の活用や観光交流のさらなる促進に向けた取り組みを県と連携して進める必要がある。 ・福島潟が整備されて30年以上が経過。本体施設や公園内の設備などの老朽化が進んでおり、将来に向けた対策に取り組む必要がある。 ・福島潟の希少価値を次世代に継承するとともに、来訪者の増加に向け、県及び関係団体と連携して魅力ある取り組みを創出することが望まれる。
目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・福島潟の中長期的な計画策定を行う。 ・福島潟の将来計画について関係団体で共有し、必要な取り組みを進める指針とする。
手段 (どのようなやり方で)	<ul style="list-style-type: none"> ・地元関係団体、学識経験者、県、市などを構成員とする「福島潟のあり方検討会」を開催し、将来計画の策定に取り組む。
期待される事業効果 (目的に対して)	<ul style="list-style-type: none"> ・福島潟の中・長期的な計画を策定することで、一貫した取り組みを進めることができる。 ・各関係者が一体となり計画を策定することで、意思疎通が図られ、取り組みがスムーズになる。

特色ある区づくり予算事業計画書(その2)

実施年度	令和8年度(1年目)	令和9年度(2年目)	
事業費	1,800,000円(予定額)	1,800,000円(予定額)	
計画内容 (手段に対して)	<p>●福島潟のあり方検討会</p> <p><検討内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来計画策定(素案) <p><構成員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学識経験者 ・指定管理者 ・地元関係団体 ・県・市など <p><開催回数></p> <ul style="list-style-type: none"> ・3回程度 	<p>●福島潟のあり方検討会</p> <p><検討内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来計画策定(完成) <p><構成員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学識経験者 ・指定管理者 ・地元関係団体 ・県・市など <p><開催回数></p> <ul style="list-style-type: none"> ・3回程度 	
3か年の 予定総事業費	3,600 千円		
<参考> 区づくり事業 終了後の予定	区づくり事業の成果をもとに、潟の保全、ワイルドユースに努め、さらなる観光振興、魅力発信に取り組む。		

特色ある区づくり予算事業計画書(その1)

事業名	キタクなるみどりの景観共創事業		
事業の取組み	<input type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組 <input checked="" type="checkbox"/> 区の自然・風土を生かした取組 <input type="checkbox"/> 区民との協働を目指した取組	<input type="checkbox"/> 区の伝統文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組 <input checked="" type="checkbox"/> 区民との協働による取組	
ビジョン	<input checked="" type="checkbox"/> 自然の魅力輝くまち <input type="checkbox"/> 安心安全で住みよいまち	<input type="checkbox"/> 未来へ続く活力あるまち <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> いきいきと心豊かに暮らせるまち
事業期間	令和4年4月1日 ~ 令和10年3月31日		
担当所属	北区産業振興課		
現状・課題・ニーズ (事業実施の前提)	<p>海岸部では、海辺の森協議会等のボランティア団体が積極的な保全活動を行っているが、ニセアカシア繁茂やマツクイムシ被害による保安林の荒廃が続いている。</p> <p>内陸部では、桜並木や農村公園等の美しいみどりの景観があり、地域住民との協働により保全活動が行われているが、樹木繁茂や施設経年劣化等の問題があり、魅力ある自然環境を将来に残すための環境整備が求められている。</p>		
目的 (何のために)	海辺の森や桜並木等の美しいみどりの景観の環境整備を図り、交流人口拡大を図る。		
手段 (どのようなやり方で)	地域住民やボランティア団体等の保全活動を支援するとともに、交流人口拡大に向けた社会実験やみどりの景観の環境整備に取り組む。		
期待される事業効果 (目的に対して)	保安林再生と農村部のみどりの景観の環境整備が進むとともに、交流人口拡大が図られる。		

特色ある区づくり予算事業計画書(その2)

実施年度	令和7年度(4年目)	令和8年度(5年目)	令和9年度(6年目)
事業費	4,500,000円(予算額)	4,500,000円(予定額)	4,500,000円(予定額)
計画内容 (手段に対して)	<ul style="list-style-type: none"> ●保全活動への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・海辺の森保全協議会等の活動支援 ・農村環境の保全活動支援 ●交流人口拡大に向けた取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・海辺の森の利用促進に係る社会実験 ・みどりの景観の環境整備 	<ul style="list-style-type: none"> ●保全活動への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・海辺の森保全協議会等の活動支援 ・農村環境の保全活動支援 ●交流人口拡大に向けた取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・海辺の森の利用促進に係る社会実験 ・みどりの景観の環境整備 	<ul style="list-style-type: none"> ●保全活動への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・海辺の森保全協議会等の活動支援 ・農村環境の保全活動支援 ●交流人口拡大に向けた取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・海辺の森の利用促進に係る社会実験 ・みどりの景観の環境整備
3か年の 予定総事業費	13,500 千円		
<参考> 区づくり事業 終了後の予定	海辺の森や桜並木等のみどりの景観を将来に残すため、計画的な維持管理体制構築に取り組む。		

特色ある区づくり予算事業計画書(その1)

事業名	豊かな水辺環境保全事業
事業の取組み	<input type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組 <input checked="" type="checkbox"/> 区の自然・風土を生かした取組 <input type="checkbox"/> 区民との協働をを目指した取組
区ビジョン	<input checked="" type="checkbox"/> 自然の魅力輝くまち <input type="checkbox"/> 安心安全で住みよいまち
事業期間	令和8年4月1日～令和9年3月31日
担当所属	北区区民生活課
現状・課題・ニーズ (事業実施の前提)	<p>北区には、福島潟をはじめとして、様々な水辺環境が数多くみられる。中でも、海流や風などによって運ばれてきた土砂が河口を閉じてできた松浜のひょうたん池や、かつて蛇行する阿賀野川の一部だった十二潟は、北区の豊かな自然環境が作り出した貴重な場所である。また、新井郷川排水機場の跡地を整備してつくられた濁川自然生態観察園は、人工的に創出された環境でありますながら、多様な動植物が生息・生育している。</p> <p>このような地域の宝である水辺環境を後世に引き継いでいくためには、継続的な環境保全活動が必要である。</p> <p>また、近年は地球温暖化に起因すると思われる環境変化も見られることから、今後もその動向を注視していく必要がある。</p>
目的 (何のために)	水辺環境の保全に関する活動を区民と協働で実施し、地域の宝を後世へと引き継ぐ。
手段 (どのようにやり方で)	<ol style="list-style-type: none"> 希少動植物の保護など水辺環境の保全活動の実施【新規】 <ul style="list-style-type: none"> 温暖化等の要因が水辺環境にもたらしている変化・影響の観察と把握 希少動植物を保全するための、外来動植物対策(駆除・抑制処理など)の検討 豊かな水辺環境を身近に感じるPR活動の実施 <ul style="list-style-type: none"> PR資料の作成 昆虫・植物に詳しい専門家等を講師とした観察会の開催 清掃美化活動 <ul style="list-style-type: none"> 水辺環境を保全する清掃活動等の実施
期待される事業効果 (目的に対して)	<p>水辺環境及び希少動植物の保全が図られる。</p> <p>保全活動や観察会を通して、豊かな自然環境の魅力を体感していただくことで、次世代につながる担い手の育成につなげていく。</p> <p>最終的には、北区の豊かな水辺環境の保全活動が将来にわたり継続されることが期待できる。</p>

特色ある区づくり予算事業計画書(その2)

実施年度	令和8年度		
事業費	1,200,000円(予定額)		
計画内容 (手段に対して)	<p>■ ひょうたん池 (委託先:松浜地区コミュニティ協議会) ・外来種「園芸スイレン」対策の検討【新規】 ・観察会の開催 ・環境美化活動(除草など)</p> <p>■ 十二潟 (委託先:NPO法人いいろこ十二潟を守る会) ・外来種「チクゴスズメノヒエ」対策の検討 【新規】 ・観察会の開催 ・今後の観察会の実施方法検討【新規】 ・PR活動(HPの編集、広報紙の発行など) ・環境美化活動(除草など) ・観察デッキ、遊歩道の修繕・補修</p> <p>■ 濁川自然生態観察園 (委託先:濁川地区コミュニティ協議会) ・特定外来生物「ブラックバス」対策の検討 【新規】 ・観察会の開催</p> <p>■ 水辺環境の調査・研究【新規】</p>		
3か年の 予定総事業費	1,200 千円		
<参考> 区づくり事業 終了後の予定	事業終了後は、地区コミュニティ協議会や地元団体等と協議のうえ、その年に必要な保全活動を継続して実施		

特色ある区づくり予算事業計画書(その1)

事業名	『松浜海岸の自然環境保全と地域の魅力づくり』事業
事業の取組み	<p><input checked="" type="checkbox"/>区独自の課題解決に向けた取組 <input type="checkbox"/>区の伝統文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>区の自然・風土を生かした取組 <input checked="" type="checkbox"/>区民との協働による取組</p> <p><input type="checkbox"/>区民との協働を目指した取組</p>
区ビジョン	<p><input checked="" type="checkbox"/>自然の魅力輝くまち <input type="checkbox"/>未来へ続く活力あるまち <input type="checkbox"/>いきいきと心豊かに暮らせるまち</p> <p><input type="checkbox"/>安心安全で住みよいまち <input type="checkbox"/>その他()</p>
事業期間	令和8年4月1日 ~ 令和9年3月31日
担当所属	北区建設課
現状・課題・ニーズ (事業実施の前提)	<p>松浜海岸は広大な砂浜を有し、海岸と住宅地(松浜みなと地区や松浜8丁目地区)が近接している他区とは異なる状況である。冬期間には、日本海特有の季節風により、地域住民は飛砂被害に悩まされ続けてきた。</p> <p>また、市民文化遺産に認定されている「ひょうたん池」の周りでは、秋になると多くのトンボが飛び交い、中でも絶滅危惧種I類(レッドゾーン最上位)でもある貴重なオオモノサシトンボも生息しているが、その「ひょうたん池」が飛砂被害により埋没し消滅してしまうのではと地元住民は危惧している。</p>
目的 (何のために)	<p>松浜海岸の飛砂被害を軽減して、暮らしやすい環境づくりへの取組みを進めながら、更にひょうたん池を守り、松浜地区の魅力づくりを続けていく必要がある。</p> <p>魅力の発信、地域への愛着や誇りが持てるきっかけとなるよう飛砂対策を市民協働で行い、地元住民が地域に携わる機会を増やすとともに、地域の活性化や安らぎある自然環境を今後も継続していく。</p>
手段 (どのようなやり方で)	<p>松浜海岸の広大な砂浜にアキグミの苗木等の植栽を地元住民と松浜小学校、国土交通省、新潟市との官民協働で行い、砂浜を緑化する事によるメンテナンスフリーな飛砂対策を行う。</p> <p>また、アキグミ苗木の保護や即効性のある飛砂対策として飛砂防止ネットの設置も併せて行っていく。</p>
期待される事業効果 (目的に対して)	アキグミ苗木の植栽を官民協働で進めて、砂浜を緑化する事により、松浜地区の飛砂被害の軽減につなげるとともに、地域の問題を地元の住民、地元小学生等の多くの方々で取り組んで解決していくことで、ひょうたん池の保全による魅力づくり、地域の活性化、地域への愛着・地域に誇りをもてる環境づくりが期待できる。

特色ある区づくり予算事業計画書(その2)

実施年度	令和8年度		
事業費	2,700,000円(予定額)		
計画内容 (手段に対して)	<ul style="list-style-type: none"> ・松浜海岸の飛砂防止対策として官民協働によるアキグミ苗木の植栽等を行う。 ・植栽したアキグミ苗木の保護や即効性のある飛砂対策として飛砂防止ネットの設置を行う。 		
3か年の 予定総事業費	2,700 千円		
<参考> 区づくり事業 終了後の予定	地域住民による持続可能な事業の実施		

特色ある区づくり予算事業計画書(その1)

事業名	大学連携「未来のまちづくり」事業		
事業の取組み	<input checked="" type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組 <input type="checkbox"/> 区の伝統文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組 <input type="checkbox"/> 区の自然・風土を生かした取組 <input checked="" type="checkbox"/> 区民との協働による取組 <input type="checkbox"/> 区民との協働を目指した取組		
区ビジョン	<input type="checkbox"/> 自然の魅力輝くまち <input checked="" type="checkbox"/> 未来へ続く活力あるまち <input type="checkbox"/> いきいきと心豊かに暮らせるまち <input type="checkbox"/> 安心安全で住みよいまち <input type="checkbox"/> その他()		
事業期間	令和6年4月1日 ~ 令和9年3月31日		
担当所属	北区地域総務課		
現状・課題・ニーズ (事業実施の前提)	区ビジョンで重点化する「若者との協働によるまちづくり」に向けて拠点整備が進んでいるが、大学がある割に若者と地域が関わる場が少ない。また、新潟医療福祉大学の学生は多くが北区に滞在する一方で、卒業後の県外流出が多く、定着が課題となっている。		
目的 (何のために)	北区の学生の多さを生かし、大学・地域・行政が連携して若者との協働によるまちづくりを進める。また、学生が在学中から市内での働き方を具体的にイメージできるよう支援し、卒業後の市内就職・定着を促進する。		
手段 (どのようなやり方で)	産学官リノベ事業の拠点等を会場に、大学の専門性を活かした住民向け講座を実施し、地域のつながりと若者との交流を生むまちづくりの機会を提供する。また、新潟医療福祉大学医療情報管理学科の学生を対象に、キャリア教育と連携したワークショップを行い、「新潟市での働き方」を具体的に学ぶ機会を提供する。		
期待される事業効果 (目的に対して)	多様な主体の拠点活用による地域活性化と学生が新潟で働く魅力を知ることで、市内就職を検討する学生の増加が期待される。		

特色ある区づくり予算事業計画書(その2)

実施年度	令和6年度(1年目)	令和7年度(2年目)	令和8年度(3年目)
事業費	999,900円(決算額)	1,000,000円(予算額)	2,000,000円(予定額)
計画内容 (手段に対して)	<p>○地域活性化の拠点「ラグーナ・スクエア」を会場に、新潟医療福祉大学の専門性を活かした住民向けの講座を開催することで、大学と地域のつながりを深め、まちづくりの活性化を図るもの。</p> <p>【講座内容(全6講座・25回)】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)子どもの体力向上(親子14組) 柔らかさ・すばやさ・バランス運動など (2)鍼灸治療の学びと体験(14人) 鍼灸の基礎、つぼ刺激の効果、体験など (3)健康づくりと転倒・関節痛予防(8人) 転倒予防、肩・腰・膝のケアなど (4)防災講座(11人) 災害対応、シミュレーションなど (5)国際理解講座(8人) ベトナム・タイを知る (6)スポーツを学ぶ(3人) スポーツの魅力と今後を考える 	<p>○令和6年度に引き続き、新潟医療福祉大学の専門性を活かした住民向けの講座を開催する。</p> <p>令和7年度は講座参加者の知識習得だけではなく、知識を地域に伝達できるよう、人材育成の要素を加えた内容としている。</p> <p>【講座内容(全5講座・26回)】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)健康コース <ul style="list-style-type: none"> ・ウェルビーイング ・ツボでセルフケア ・フレイル予防 (2)スポーツでまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・コーチング、心理など (3)防災講座 <ul style="list-style-type: none"> ・災害発生その時どうする 	<p>○新潟医療福祉大学の専門性を活かした住民向けの講座を継続して開催する。これまでの実績を踏まえ、参加が多かった高齢者だけでなく、若い世代(子育て世代・学生・働く世代)にも参加してもらえるよう、講座内容や開催方法を見直す。</p> <p>【講座の詳細は調整中】</p> <p>親子・ファミリー向けプログラム、若者の関心が高いテーマ(スポーツ、メンタルヘルス、防災×SNSなど)の導入を検討し、多世代が交流・学び合う仕組みづくりを進める。</p> <p>○新潟医療福祉大学の学生が就職活動を「自分ごと」として主体的に考えられるよう支援し、新潟で働く魅力を伝える授業を実施する。大学・企業・行政を結びつけたプログラムを展開することで、学生の卒業後の市内定住を促進する。</p> <p>【授業の詳細は調整中】</p> <p>学生の業界理解を深めるために、市内企業の地域貢献や技術力を紹介。</p> <p>市内企業の若手社員によるトークセッション。</p> <p>勤務地選択の参考として、新潟での働き方・生活を紹介。</p>
3か年の 予定総事業費	4,000 千円		
<参考> 区づくり事業 終了後の予定	地域の拠点で大学・地域・行政の連携の場を定期的に設けることでまちの活性化に寄与する。 市内に定着する卒業生が増えることで市内就職への関心を高める。		

特色ある区づくり予算事業計画書(その1)

事業名	北区トマト王国プロジェクト
事業の取組み	<p><input checked="" type="checkbox"/>区独自の課題解決に向けた取組 <input type="checkbox"/>区の伝統文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組</p> <p><input type="checkbox"/>区の自然・風土を生かした取組 <input type="checkbox"/>区民との協働による取組</p> <p><input type="checkbox"/>区民との協働を目指した取組</p>
区ビジョン	<p><input type="checkbox"/>自然の魅力輝くまち <input checked="" type="checkbox"/>未来へ続く活力あるまち <input type="checkbox"/>いきいきと心豊かに暮らせるまち</p> <p><input type="checkbox"/>安心安全で住みよいまち <input type="checkbox"/>その他()</p>
事業期間	令和6年4月1日 ~ 令和9年3月31日
担当所属	北区産業振興課
現状・課題・ニーズ (事業実施の前提)	<ul style="list-style-type: none"> ・県下第一の出荷量を誇るトマト産地である北区。しかしながら、生産者の高齢化や後継者不足などにより、生産者数、栽培面積ともに減少傾向にある。 ・空きハウスの増加と農地の遊休化による産地衰退が懸念される。
目的的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・「儲かる農業」実現のため、ブランド力の強化と新たな販路獲得のための販売戦略構築。 ・農作業省力化・効率化等による生産性向上、高品質化による農業所得の増大。 ・新規就農希望者と不作付地や空きハウスのマッチングによる資源の有効利活用と担い手の確保。
手段 (どのようなやり方で)	<p>北区トマト王国協議会で各種事業を展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トマト農家、農業関係団体(JA新潟市・全農にいがた)、新潟県、北区が一体となってプロジェクトチームを構成し活動。 ①広報販促部会……「トマトマルシェ」開催、PLANT5横越店と連携・販売プロモーション実施、学校給食との連携(新規) 各種イベント企画・参画、メディア露出戦略などを展開する。 ②担い手育成部会…「北区就農セミナー」の開催、新規就農サポート事業による支援、大学との連携強化(新規) その他、新規就農希望者を産地全体で受入体制を構築、育成支援に取り組む ③ICT部会……農作業の省力化・高品質化等を目指し各種実証、地域内で農業ICT普及啓発を行う。 養液土耕栽培システムの導入推進、環境モニタリングシステム導入による栽培技術平準化など ・北区農業振興協議会との事業連携 ④不作付地、空きハウス情報の共有と新規就農希望者へのあっせん、新たな耕作者支援(耕起代、借地料補助)
期待される 事業効果 (目的に対して)	<ul style="list-style-type: none"> ・公民連携による産地の活性化 ・生産量拡大、高付加価値化による農業所得増大 ・農業ICT普及による農作業省力化と若手農業者への円滑な技術継承 ・新規就農希望者の増加と担い手の確保、育成 ・有効資源(農地・園芸施設等)の利活用による遊休化の防止、解消

特色ある区づくり予算事業計画書(その2)

実施年度	令和6年度(1年目)	令和7年度(2年目)	令和8年度(3年目)
事業費	2,000,000円(決算額)	2,000,000円(予算額)	2,000,000円(予定額)
計画内容 (手段に対して)	<p>●北区トマト王国協議会 負担金</p> <p>①広報・販促部会活動 ・広報事業数 3回 ・販促事業数 5回</p> <p>②担い手育成部会活動 ・新規のトマト栽培農家 1名獲得 ・新規就農者サポート支援事業 北区就農セミナーを開催、14組19名参加</p> <p>③ICT部会活動(農業ICT導入・普及推進) ・キタクICTハウス部会活動支援 環境モニタリング実証を行い、産地全体の栽培技術平準化と、栽培マニュアル化を図った。</p> <p>④不作付地解消等支援 ・不作付地解消支援(空きハウスの利活用) 活用支援 2件、計27アール ※耕作放棄地を再生</p>	<p>●北区トマト王国協議会 負担金</p> <p><事業計画></p> <p>①広報・販促部会活動 トマトマルシェ開催(新規)、販売プロモーション実施 等</p> <p>②担い手育成部会活動 北区就農セミナー開催、新規就農サポート支援事業 等</p> <p>③ICT部会活動費 農業ICT機器導入推進、栽培技術平準化支援 等</p> <p>④不作付地解消等支援 不作付地・空きハウス解消支援、新たな耕作者支援 等</p>	<p>●北区トマト王国協議会 負担金</p> <p><事業計画></p> <p>①広報・販促部会活動 トマトマルシェ開催、販売プロモーション実施、学校給食との連携(新規) 等</p> <p>②担い手育成部会活動 北区就農セミナー開催、新規就農サポート支援事業、大学との連携による担い手確保・育成(新規) 等</p> <p>③ICT部会活動費 農業ICT機器導入推進、栽培技術平準化支援 等</p> <p>④不作付地解消等支援 不作付地・空きハウス解消支援、新たな耕作者支援 等</p>
3か年の 予定総事業費	6,000 千円		
<参考> 区づくり事業 終了後の予定	生産者団体、JAの主体的な活動への移行を促しながら、公民連携で産地育成を図っていく。		

特色ある区づくり予算事業計画書(その1)

事業名	キタクなる魅力創造プロジェクト		
事業の取組み	<input type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組 <input type="checkbox"/> 区の自然・風土を生かした取組 <input type="checkbox"/> 区民との協働を目指した取組	<input checked="" type="checkbox"/> 区の伝統文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組 <input type="checkbox"/> 区民との協働による取組	
区ビジョン	<input type="checkbox"/> 自然の魅力輝くまち <input type="checkbox"/> 安心安全で住みよいまち	<input checked="" type="checkbox"/> 未来へ続く活力あるまち <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> いきいきと心豊かに暮らせるまち
事業期間	令和4年4月1日 ~ 令和10年3月31日		
担当所属	北区産業振興課		
現状・課題・ニーズ (事業実施の前提)	まちの賑わいや活性化につなげるため、さらなる交流人口の拡大が必要であり、北区を訪れたくなる新たな魅力の掘り起こしとともに、自然溢れる福島潟、歴史ある市場や飲食店などの観光資源の魅力の強化が求められる。		
目的 (何のために)	人口減少や高齢化等による商業をはじめとした地域産業の衰退やまちの活力低下に対し、北区の魅力を強化し、誘客による交流人口拡大に取り組むことで、地域産業を元気にし、まちの賑わい創出につなげる。		
手段 (どのようなやり方で)	観光関係団体や飲食、商工業者等と連携し、バスツアーやまち歩きなどを活用することで、北区の新たな観光資源の掘り起こしや魅力の磨き上げを行う。		
期待される事業効果 (目的に対して)	新たな観光資源の発掘と魅力の強化に取り組むことで、旅行者の満足度向上による誘客を中心とした交流人口の拡大とともに、まちの賑わいや地域産業の活性化につながる。		

特色ある区づくり予算事業計画書(その2)

実施年度	令和7年度(4年目)	令和8年度(5年目)	令和9年度(6年目)
事業費	3,700,000円(予算額)	3,400,000円(予定額)	3,400,000円(予定額)
計画内容 (手段に対して)	<ul style="list-style-type: none"> ●北区観光PR事業 <ul style="list-style-type: none"> ・北区情報発信事業(学生レポーター) ・誘客関係プロモーション など ●ござれや花火シャトルバス運行事業 ●新潟市北区観光誘客推進協議会 負担金 <ul style="list-style-type: none"> ・民間バスツアー支援事業 ・観光資源利用促進事業 <ul style="list-style-type: none"> →市場共通商品券事業 レンタサイクル運営費補助 ・北区観光PR事業 <ul style="list-style-type: none"> →観光ガイドブック作成 など ・観光おもてなしイベント事業 <ul style="list-style-type: none"> →まち歩きイベント等諸経費 	<ul style="list-style-type: none"> ●北区観光PR事業 <ul style="list-style-type: none"> ・北区情報発信事業(学生レポーター) ・誘客関係プロモーション など ●ござれや花火シャトルバス運行事業 ●新潟市北区観光誘客推進協議会 負担金 <ul style="list-style-type: none"> ・民間バスツアー支援事業 ・観光資源利用促進事業 <ul style="list-style-type: none"> →市場共通商品券事業 レンタサイクル運営費補助 ・北区観光PR事業 <ul style="list-style-type: none"> →観光情報発信経費 ・観光おもてなしイベント事業 <ul style="list-style-type: none"> →まち歩きイベント等諸経費 	<ul style="list-style-type: none"> ●北区観光PR事業 <ul style="list-style-type: none"> ・北区情報発信事業(学生レポーター) ・誘客関係プロモーション など ●ござれや花火シャトルバス運行事業 ●新潟市北区観光誘客推進協議会 負担金 <ul style="list-style-type: none"> ・民間バスツアー支援事業 ・観光資源利用促進事業 <ul style="list-style-type: none"> →市場共通商品券事業 レンタサイクル運営費補助 ・北区観光PR事業 <ul style="list-style-type: none"> →観光情報発信経費 ・観光おもてなしイベント事業 <ul style="list-style-type: none"> →まち歩きイベント等諸経費
3か年の 予定総事業費	10,500 千円		
<参考> 区づくり事業 終了後の予定	本事業の成果を踏まえ、さらなるまちの魅力向上と交流人口の拡大に取り組み、まちの賑わい創出や地域産業の活性化につなげる。		

特色ある区づくり予算事業計画書(その1)

事業名	商店街ブランディング事業
事業の取組み	<input checked="" type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組 <input type="checkbox"/> 区の伝統文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組 <input type="checkbox"/> 区の自然・風土を生かした取組 <input type="checkbox"/> 区民との協働による取組 <input type="checkbox"/> 区民との協働を目指した取組
区ビジョン	<input type="checkbox"/> 自然の魅力輝くまち <input checked="" type="checkbox"/> 未来へ続く活力あるまち <input type="checkbox"/> いきいきと心豊かに暮らせるまち <input type="checkbox"/> 安心安全で住みよいまち <input type="checkbox"/> その他()
事業期間	令和6年4月1日 ~ 令和9年3月31日
担当所属	北区産業振興課
現状・課題・ニーズ (事業実施の前提)	<p>歴史ある2つの市場や各地域におけるイベントの開催により、幅広い年代の来場につながるなど、一定の効果が出ているが、日常的なまちの賑わいにつながっていない。</p> <p>後継者不足や高齢化等の影響もあり、閉業する商店も多くなっており、意欲ある既存商店の販売力の強化が必要である。</p>
目的 (何のために)	地場産品を集めたイベント開催などによる人流拡大やまちの賑わい創出により、市場や地元商店の魅力や販売力の強化につなげる。
手段 (どのようなやり方で)	市場や地元商店等と連携し、家族連れを始め、多様な世代が来訪したくなるイベントを開催するとともに、イベント来場者が日常的に市場や地元商店の利用につながるきっかけづくりを行う。
期待される事業効果 (目的に対して)	市場や地元商店の日常的な利用者が増えることで、継続的なまちの賑わいと市場や商店の販売力の強化につながる。

特色ある区づくり予算事業計画書(その2)

実施年度	令和6年度(1年目)	令和7年度(2年目)	令和8年度(3年目)
事業費	2,800,000円(決算額)	2,600,000円(予算額)	2,600,000円(予定額)
計画内容 (手段に対して)	<ul style="list-style-type: none"> ● 豊栄地区 (地域商業賑わい創生プロジェクト) ・うまいもん市場(年10回開催、141店舗) ・コミュニティスペース活用事業 ● 北新潟地域 (ござれや活性化プロジェクト実行委員会) ・6/2こらっせ松浜市、10/12ファイト松浜市 ※延べ33店舗 ・商店街プロジェクト(ときめきポイントカード 3倍ポイントセール※8月、12月) ● 民間との共催事業 ・「キテ・ミテ・キタ区」実行委員会負担金 ※来場者6,500人 ● 葛塚・松浜市場共通商品券発行 	<ul style="list-style-type: none"> ● 豊栄地区 (地域商業賑わい創生プロジェクト) ・うまいもん市場 ・コミュニティスペース活用事業 ● 北新潟地域 (ござれや活性化プロジェクト実行委員会) ・こらっせ松浜市、ファイト松浜市 ・商店街プロジェクト ● 民間との共催事業 ・「キテ・ミテ・キタ区」実行委員会負担金 	<ul style="list-style-type: none"> ● 豊栄地区 (地域商業賑わい創生プロジェクト) ・うまいもん市場 ・コミュニティスペース活用事業 ● 北新潟地域 (ござれや活性化プロジェクト実行委員会) ・こらっせ松浜市、ファイト松浜市 ・商店街プロジェクト ● 民間との共催事業 ・「キテ・ミテ・キタ区」実行委員会負担金
3か年の 予定総事業費	8,000 千円		
<参考> 区づくり事業 終了後の予定	本事業の成果を踏まえ、引き続き、まちの賑わい創出に繋がる取り組みを検討する。		

特色ある区づくり予算事業計画書(その1)

事業名	产学研官豊栄まちなかリノベ事業
事業の取組み	<p><input checked="" type="checkbox"/>区独自の課題解決に向けた取組 <input type="checkbox"/>区の伝統文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組</p> <p><input type="checkbox"/>区の自然・風土を生かした取組 <input type="checkbox"/>区民との協働による取組</p> <p><input type="checkbox"/>区民との協働を目指した取組</p>
区ビジョン	<p><input type="checkbox"/>自然の魅力輝くまち <input checked="" type="checkbox"/>未来へ続く活力あるまち <input type="checkbox"/>いきいきと心豊かに暮らせるまち</p> <p><input type="checkbox"/>安心安全で住みよいまち <input type="checkbox"/>その他()</p>
事業期間	令和5年4月1日 ~ 令和10年3月31日
担当所属	北区産業振興課
現状・課題・ニーズ (事業実施の前提)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の生活を支えてきた市場や商店は、高齢化や後継者不足などにより廃業や空き店舗が増えている。 ・北区内の大学に在学している学生の多くは区内に居住しているが、地域における活動の場がなく、まちづくりに若い力が生かされていない。
目的 (何のために)	产学研官が連携し、まちなかの人流拡大によるまちの賑わい創出を目指す。
手段 (どのようなやり方で)	<p>产学研官の連携により、まちなかにある空き店舗を活用した地域活性化のための拠点(コミュニティースペース、大学スペースなど)を整備する。</p> <p>まちづくり会社・大学・区役所が上記スペースを活用し、地域一丸となり、まちなかの人流拡大に繋がる取り組みを行う。</p>
期待される事業効果 (目的に対して)	コミュニティースペースや学生スペースを利用する多様な世代の人流が生まれることで、まちなかの賑わいと地域活性化につながる。

特色ある区づくり予算事業計画書(その2)

実施年度	令和7年度(3年目)	令和8年度(4年目)	令和9年度(5年目)
事業費	3,500,000円(予算額)	3,500,000円(予定額)	3,500,000円(予定額)
計画内容 (手段に対して)	<ul style="list-style-type: none"> ●葛塚エリア賑わい創出事業 ラグーナスクエア(コミュニティ スペース、大学スペース管理 他) ●関連イベント開催など ●AIカメラ来場者調査 	<ul style="list-style-type: none"> ●葛塚エリア賑わい創出事業 ラグーナスクエア(コミュニティ スペース、大学スペース管理 他) ●関連イベント開催など ●AIカメラ来場者調査 	<ul style="list-style-type: none"> ●葛塚エリア賑わい創出事業 ラグーナスクエア(コミュニティ スペース、大学スペース管理 他) ●関連イベント開催など ●AIカメラ来場者調査
3か年の 予定総事業費	10,500 千円		
<参考> 区づくり事業 終了後の予定	事業成果の検証を行い、民間事業者を主体とした事業継続への検討を行う。		

特色ある区づくり予算事業計画書(その1)

事業名	北区郷土博物館 地域魅力発信事業		
事業の取組み	<input type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組 <input checked="" type="checkbox"/> 区の伝統文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組 <input type="checkbox"/> 区の自然・風土を生かした取組 <input type="checkbox"/> 区民との協働による取組 <input type="checkbox"/> 区民との協働を目指した取組		
区ビジョン	<input type="checkbox"/> 自然の魅力輝くまち <input type="checkbox"/> 未来へ続く活力あるまち <input checked="" type="checkbox"/> いきいきと心豊かに暮らせるまち <input type="checkbox"/> 安心安全で住みよいまち <input type="checkbox"/> その他()		
事業期間	令和5年4月1日 ~ 令和9年3月31日		
担当所属	北区地域総務課 北区郷土博物館		
現状・課題・ニーズ (事業実施の前提)	令和4年度に解体となった分館「横井の丘ふるさと資料館」で展示していた葛塚縞手織機を本館に移動展示している。 江南区の亀田縞と同様豊栄地域に存在した葛塚縞について、市民に認知してもらう必要がある。 地域の人々の生活のなかで生まれ、親しまれた神楽や獅子舞、盆踊りなどの郷土芸能を絶やすことなく存続させる必要がある。 郷土芸能保存団体の多くが新型コロナウイルス感染症の影響でここ数年活動休止を余儀なくされ活動人員の減少が進み、 担い手不足もあって存続が難しい状況にある。 長く同じ常設展示を続けていることや、令和7年度から観覧料の有料化となったこともあって来館者が急激に減少している。		
目的 (何のために)	葛塚縞手織機を活用した実演を多くの方々に観てもらうなどして広く市民の理解を深め、葛塚縞の歴史と今日の状況などについて広く市民に認知してもらう。 地域の郷土芸能について市民の理解を深め、郷土芸能を担う市民が誇りに感じ、後継者が育つ環境づくりを進める。 行ってみたいと思える魅力的な展示に努め、来館者の満足度の向上と来館者の増加を図る。		
手段 (どのようなやり方で)	1 葛塚縞について <ul style="list-style-type: none"> ① 常設展示拡張コーナーの整備・充実 ② 葛塚縞手織りの出張実演 ③ 葛塚縞関連講演会の開催 ④ 葛塚縞の紹介図録の作成 ⑤ 葛塚縞手織り技術伝承講座の開催 ⑥ 葛塚縞手織り実演展示の充実 2 郷土芸能について <ul style="list-style-type: none"> ① 郷土芸能の実演 ② 常設展示の充実 ③ 常設展示の改修 		
期待される 事業効果 (目的に対して)	地域に伝わる伝統文化である葛塚縞、郷土芸能について市民理解が進むことにより、地域の魅力を再確認し地域への誇りや愛着を持てる環境が醸成される。 区民が郷土の歩みを学び、伝統文化に親しむ機会が創出され、地域の歴史・文化・芸術活動を担う人材が育成される。 北区の歴史と文化などの魅力を伝えて市民の郷土愛を育むとともに、新潟市を訪れる観光客などに新潟市北区の良さを知っていただくことができる。		

特色ある区づくり予算事業計画書(その2)

実施年度	令和6年度(2年目)	令和7年度(3年目)	令和8年度(4年目)
事業費	974,865円(決算額)	1,000,000円(予算額)	1,500,000円(予算額)
計画内容 (手段に対して)	<p>1葛塚縞について ②葛塚縞手織りの出張実演 多くの市民が集まる新潟ふるさと村に葛塚縞手織機を搬送し、保存会「葛塚縞手織りの会」による出張実演を行った。 ③葛塚縞関連講座の開催 北区郷土博物館において、企画展「葛塚縞展」の開催に合わせて講座を行った。</p> <p>2郷土芸能について ①郷土芸能の実演 北区文化会館において、北区郷土芸能フェスティバルを開催し、北区内で活動を続ける郷土芸能保存団体による実演を行った。</p> <p>・葛塚縞講師、芸能実演参加団体、司会、運営補助への謝礼等 477,288円 ・手織機移動委託料 66,000円 ・パネル、ポスター、チラシ作成 230,175円 ・消耗品等 201,402円</p>	<p>1葛塚縞について ④葛塚縞の紹介図録の作成 くらしを支えた手織り「葛塚縞」の紹介図録を作成する。現在、葛塚縞手織りの会が行っている手織り伝承の工程映像を添付する。</p> <p>・印刷製本費 422,000円 ・DVD複製委託費 242,000円</p> <p>⑤葛塚縞手織り技術伝承講座の開催 手織りの技術伝承者を養成する講座を開催する。講師は葛塚縞手織りの会に依頼。</p> <p>・糸代(消耗品) 24,000円 ・講師謝礼 312,000円</p>	<p>1葛塚縞について ⑥葛塚縞手織り実演展示の充実 葛塚縞手織りを市民に広く、身近に知ってもらうため手織り実演の充実を図る。 葛塚縞手織りを使用したグッズを制作し有償頒布する。</p> <p>・葛塚縞手織機補修委託費 45,000円 ・葛塚縞手織りグッズ制作委託費 120,000円 ・葛塚縞手織りグッズのタグ制作委託費 35,000円</p> <p>3 常設展示の充実 北区の歴史的、文化的な魅力を分かりやすく伝えるため、常設展示の改修を行う。</p> <p>・常設展示改修業務委託費 1,300,000円</p>
4か年の 予定総事業費	4,055 千円		
<参考> 区づくり事業 終了後の予定	<p>令和5年度(1年目)は常設展示拡大コーナーの整備・充実を図った。事業費(決算額)は579,480円。</p> <p>事業終了後は、この事業により発信してきた地域の魅力を継続的に広報していく。</p>		

特色ある区づくり予算事業計画書(その1)

事業名	北区エンジョイスポーツ事業
事業の取組み	<input type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組 <input type="checkbox"/> 区の伝統文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組 <input type="checkbox"/> 区の自然・風土を生かした取組 <input type="checkbox"/> ■区民との協働による取組 <input type="checkbox"/> 区民との協働を目指した取組
ビジョン	<input type="checkbox"/> 自然の魅力輝くまち <input type="checkbox"/> 安心安全で住みよいまち <input type="checkbox"/> 未来へ続く活力あるまち <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> ■いきいきと心豊かに暮らせるまち
事業期間	令和3年4月1日 ~ 令和9年3月31日
担当所属	北区産業振興課
現状・課題・ニーズ (事業実施の前提)	区民が生涯を通じて気軽にスポーツを楽しめる取り組みや、多様な団体がスポーツを楽しみ、健康増進を図る機会の創出を進める必要がある。
目的 (何のために)	各競技団体が行うスポーツ・レクリエーション活動への支援を進め、参加者数の増大と交流促進、及び健康増進を図る。
手段 (どのようなやり方で)	北区スポーツ協会を核として区内スポーツ団体等と連携し、区民が安心して気軽に参加できるスポーツ大会、体験会を区内スポーツ施設等で開催する。 昭和43年から続く冬の風物詩として、自然に親しみながら歩く北区元旦歩こう会を実行委員会形式で開催する。
期待される事業効果 (目的に対して)	年齢を問わず多くの区民が、安心してスポーツに親しむ機会を得て、交流促進と健康増進につながり、健康で明るい北区づくりに貢献できる。

特色ある区づくり予算事業計画書(その2)

実施年度	令和6年度(4年目)	令和7年度(5年目)	令和8年度(6年目)
事業費	1,477,210円(決算額)	3,000,000円(予算額)	2,000,000円(予定額)
計画内容 (手段に対して)	<ul style="list-style-type: none"> ●「エンジョイスポーツin北区2024」 <ul style="list-style-type: none"> ・開催時期 令和6年10月～令和7年1月末 ・参加者数 2,925人 ・開催内容 <ul style="list-style-type: none"> スポーツイベント、各競技大会、 スポーツ体験イベント ●「第58回新潟市北区元旦歩こう会」 <ul style="list-style-type: none"> (北区元旦歩こう会実行委員会) ・開催日 令和7年1月1日 ・参加者数 405人 ・会場 豊栄総合体育館発着 (2コースから選択) ●部活動地域移行先進地視察 	<ul style="list-style-type: none"> ●「エンジョイスポーツin北区2025」 <ul style="list-style-type: none"> ・開催時期 令和7年10月～令和8年1月末 ・開催内容 <ul style="list-style-type: none"> スポーツイベント、各競技大会、 スポーツ体験イベント ●エンジョイスポーツ&カルチャーforジュニア <ul style="list-style-type: none"> ・実証事業 ・コーディネート事業 ●「第59回新潟市北区元旦歩こう会」 <ul style="list-style-type: none"> (北区元旦歩こう会実行委員会) ・開催日 令和8年1月1日 ・会場 豊栄総合体育館発着 (2コースから選択) 	<ul style="list-style-type: none"> ●「エンジョイスポーツin北区2026」 <ul style="list-style-type: none"> ・開催時期 令和8年10月～令和9年1月末 ・開催内容 <ul style="list-style-type: none"> スポーツイベント、各競技大会、 スポーツ体験イベント ●「第60回新潟市北区元旦歩こう会」 <ul style="list-style-type: none"> (北区元旦歩こう会実行委員会) ・開催日 令和9年1月1日 ・会場 豊栄総合体育館発着 (2コースから選択)
3か年の 予定総事業費	6,478 千円		
<参考> 区づくり事業 終了後の予定	参加者の意見・要望を踏まえ、関係団体や実行委員会で実施について検討する。		

特色ある区づくり予算事業計画書

事業名	大学連携による地域活性化事業
事業の取組み	<input type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組 <input type="checkbox"/> 区の自然・風土を生かした取組 <input type="checkbox"/> 区民との協働を目指した取組 <input type="checkbox"/> 区の伝統文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組 <input checked="" type="checkbox"/> 区民との協働による取組
区ビジョン	<input type="checkbox"/> 自然の魅力輝くまち <input type="checkbox"/> 安心安全で住みよいまち <input checked="" type="checkbox"/> 未来へ続く活力あるまち <input checked="" type="checkbox"/> その他(自治協議会委員提案事業) <input type="checkbox"/> いきいきと心豊かに暮らせるまち
事業期間	令和8年4月1日～令和9年3月31日
関連部会	地域づくり部会
現状・課題・ニーズ (事業実施の前提)	北区は、区ビジョン計画で「未来へ続く活力あるまち」を掲げ、若い力を活かし、地域の大学などと連携を深めながら、住み続けたくなるまちを目指すとしている。区内には新潟医療福祉大学と新潟食料農業大学の二つの大学があり、医療福祉大学との連携は進んでいる一方、食料農業大学との連携はまだ深まっていない。地域資源を活用し、大学と連携することで、地域課題の解決や地域の活性化を目指す必要がある。
目的 (何のために)	新潟食料農業大学と区自治協議会が連携を深め、地域の発展に貢献するため。大学の知識やリソースを地域に活かし、地域全体の活性化を進めるため。
手段 (どのようなやり方で)	新潟食料農業大学と区自治協議会が地域の課題解決に向けて、まずは課題を共有し、その後連携して、地域社会とのつながりを深めるイベント・企画などの事業を実施する。
期待される 事業効果 (目的に対して)	大学と地域が連携することで、地域の課題に柔軟に対応できる体制が整備されることが期待される。地域資源の活用を通じて、地域社会の活性化につながる。
令和8年度 予定額	60万円

特色ある区づくり予算事業計画書

事業名	地域におけるこども・子育て支援事業
事業の取組み	<input type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組 <input type="checkbox"/> 区の自然・風土を生かした取組 <input checked="" type="checkbox"/> 区民との協働を目指した取組 <input type="checkbox"/> 区の伝統文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組 <input checked="" type="checkbox"/> 区民との協働による取組
区ビジョン	<input type="checkbox"/> 自然の魅力輝くまち <input checked="" type="checkbox"/> 安心安全で住みよいまち <input checked="" type="checkbox"/> 未来へ続く活力あるまち <input type="checkbox"/> いきいきと心豊かに暮らせるまち <input type="checkbox"/> その他(自治協議会委員提案事業)
事業期間	令和8年4月1日～令和9年3月31日
関連部会	福祉教育部会
現状・課題・ニーズ (事業実施の前提)	<p>北区区ビジョンまちづくり計画では、「いきいきと心豊かに暮らせるまち」を基本方針に掲げ、「安心して子どもを産み育てることのできる環境をつくり、地域全体で子どもを支えていくまちを目指す」としている。また、こども家庭庁「幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン(はじめの100か月育ちのビジョン)」においても、こどもの育ちを支える環境や社会の厚みを増す必要性が言及されている。</p> <p>少子高齢化や共働き家庭の増加などにより、子育て環境は大きく変化しており、地域として取り組む必要性が高まっている。</p>
目的 (何のために)	地域がこどもの健やかな育ちや子育て世帯を支える“社会の厚み”として機能することを目的に、事業を実施する。
手段 (どのようなやり方で)	イベントや講演会、啓発物の発行などを通し、地域へ伝える。
期待される 事業効果 (目的に対して)	コミュニティ協議会をはじめとする地域の公的団体で構成される自治協議会が、地域におけるこども・子育て支援に取り組むことにより、地域がこども・子育て支援の層となることの重要性を効果的に伝えることができる。また、委員が取組内容を自らの所属団体や地域に持ち帰ることで、趣旨が波及的に広まることが期待される。
令和8年度 予定額	60万円

特色ある区づくり予算事業計画書

事業名	北区 自然(水辺)環境の活用・魅力発信事業
事業の取組み	<input type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組み <input checked="" type="checkbox"/> ■区の自然・風土を生かした取組み <input type="checkbox"/> □区民との協働を目指した取組み <input type="checkbox"/> □区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組み <input type="checkbox"/> □区民と協働による取組み <input checked="" type="checkbox"/> ■区自治協議会が提案する、地域課題の解決に必要となる事業
区ビジョン	<input checked="" type="checkbox"/> ■自然の魅力輝くまち <input type="checkbox"/> □未来へ続く活力あるまち <input type="checkbox"/> □安心安全で住みよいまち <input type="checkbox"/> □いきいきと心豊かに暮らせるまち <input checked="" type="checkbox"/> ■その他(自治協議会委員提案事業)
事業期間	令和8年4月1日～令和9年3月31日
関連部会	自然文化部会
現状・課題・ニーズ (事業実施の前提)	北区には多様な自然(水辺)施設があり、環境を守り続けるにはその魅力に気づいてもらうことが必要だが、認知度は低い。区ビジョンまちづくり計画でも、自然環境の保全や活用、観光・交流の促進といった取り組みが求められている。
目的 (何のために)	北区内の水辺など自然の魅力を広め、住民が参加できる交流の場を創出するとともに、自然環境の保全意識を高める。
手段 (どのようなやり方で)	北区内の自然(水辺)を活用した交流イベントを通じて、住民が自然に親しみながら環境保全の意識を高める。
期待される 事業効果 (目的に対して)	北区の自然の魅力が広く周知されることで、住民の環境保全意識が高まり、地域の交流人口の拡大につながる。
令和8年度 予定額	60万円